

長崎県東南アジアビジネスサポートデスク通信

■サポートデスク設置国の基本情報【シンガポール・タイ・ベトナム・台湾】

・サポートデスク設置所在地

・現地の様子



・基礎情報

地域	時差	福岡からの所要時間	総人口	在留邦人	名目GDP	1人当たり名目GDP
シンガポール	▲1時間	6時間	604万	約3.2万	5,473億USD	9.0万USD
タイ	▲2時間	6時間	6,595万	約7.0万	5,149億USD	0.7万USD
ベトナム	▲2時間	5時間	1億130万	約1.7万	4,763億USD	0.4万USD
台湾	▲1時間	2.5時間	2,342万	約2.1万	7,560億USD	3.2万USD
日本(参考)	—	—	1.2億万	—	4.2兆USD	3.2万USD

・シンガポール事務所



・バンコク事務所



・ホーチミン事務所



・台北事務所



長崎県東南アジアビジネスサポートデスク通信

■現地からの最新情報 - シンガポール編 -

・現地からの耳よりの情報

【シンガポールでは国民の健康維持のための予防医療が盛ん】

- ✓ シンガポールでは、糖尿病を始めとする生活習慣病抑制対策、不足している医療従事者の雇用促進といった健康・保健関連分野に対して多くの国費を費やしています。
- ✓ 今後もそれら費用が増大していくことを懸念した政府は「国民に、病気にならないよう健康的な生活を営んでもらう」ことを重視し、国民一人ひとりに健康意識を根付かせる施策を推進しています。
- ✓ 政府がフィットネスクラブに補助金を出し、オフィス街の広場やジムで開催する無料レッスンが一つの例です。
- ✓ そのような取り組みにより国民の健康意識は高まっていると感じます。
- ✓ 健康というストーリーを取り入れた商品開発やプロモーションはシンガポール市場を狙う際のポイントかもしれません。



・サポート好事例ご紹介

・事例 ~販路先開拓支援~

【背景・課題】

- ✓ 食品商社A社は、自社でコンセプトからプロデュースしたアルコール飲料をラインナップに持ち、現在東京などの大都市及び欧米のレストランに自社プロデュース商品を卸しています。
- ✓ 更なる売上増加を目指し、東南アジアにおいても商品を展開していく為、まずは世界中から飲食店が集まるシンガポールをきっかけに東南アジア市場を開拓していくことを決定しました。

【対応】

- ✓ シンガポール事務所で保有する販売候補先リストを活用し以下のステップでサポートを実施しました。
 - ① A社とのWeb面談で商品の強みや特徴をヒアリング。
 - ② 販売候補先リストをA社と共有し、アプローチ優先順位を決定。
 - ③ 優先順位に沿ってアプローチを行い、バイヤーとのWeb商談をセッティング(事前のサンプル送付調整等)。

【結果】

- ✓ 現地バイヤーとのWeb面談及びその後のシンガポール事務所による現地サポートを経て、マリーナベイサンズのレストランバーへの納品が決定しました。
- ✓ また、別のバイヤー経由でもシンガポールの創作イタリアンレストランに納品が決定するなど販路が着実に広がっています。

長崎県東南アジアビジネスサポートデスク通信

■現地からの最新情報 - タイ編 -

・現地からの耳よりの情報

【タイ人の「日本旅行」人気が再加速！】

- ✓ 近年、タイ人の日本旅行人気が高まっています。背景には、依然として続く円安傾向があり、航空券・宿泊費・買い物の「お得感」がSNS上で広く共有、拡散されています。
- ✓ 特に最近は、九州と北海道を取り上げた旅行動画がTikTokやInstagramで話題となっており、若年層を中心に「日本に行きたい」「地方都市を巡るのがトレンド」といった声が増えています。
- ✓ 動画では、温泉、雪景色、地方グルメ、夜市的なストリートフード体験などが人気コンテンツとなっているほか、九州では福岡・熊本・長崎など「ローカルの魅力」を紹介する投稿が拡散されています。
- ✓ また、日本への渡航が複数回目の旅行者は東京・大阪といった都市部よりも自然豊かな九州を選ぶケースが多く、この傾向は地方自治体や県内企業にとって、インバウンド誘致の新たな追い風となり得るものです。
- ✓ 眼鏡橋(สะพานแวนด้า、サバーンウェンター)はタイでは大変有名です。



・サポート好事例ご紹介

・事例 ~仕入先開拓の事例~

【背景・課題】

- ✓ 食品メーカーB社は、国内市場の価格高騰および調達多角化の必要性から、東南アジアからの畜肉調達(特に鶏肉の輸入)の検討を進めていました。
- ✓ しかし、タイ国内には大小多数のサプライヤーが存在し、品質基準、日本向け輸出経験の有無、加工対応(カット・味付けなど)の可否を自社だけで確認することが難しく、信頼できるサプライヤーの選定に課題を抱えていました。

【対応】

- ✓ 現地コンサル会社と連携し、以下の3ステップで候補の絞り込みと商談支援を実施しました。
 - ① 候補先企業をリストアップし輸出実績、加工能力を調査。
 - ② 事前ヒアリング(取引意向の事前確認)。
 - ③ オンライン商談のアレンジ(通訳サポート、品質サンプルの送付調整等)。

【結果】

- ✓ B社は候補先3社の比較検討を行い、品質・加工対応・価格条件がバランスの良い1社を選定し、優先交渉に進むことを決定。サンプル製造もスムーズに完了し、今後の輸入に向けた実務手続き(工場査察・契約条件調整)に移行。
- ✓ これにより、同社が課題としていた調達先の多角化と仕入れコストの安定化に向けた具体的な第一歩となりました。

長崎県東南アジアビジネスサポートデスク通信

■現地からの最新情報 - ベトナム編 -

・現地からの耳よりの情報

【ベトナムでは空前のピックルボールブームが到来！】

- ✓ ベトナムでは、テニス、バドミントン、卓球を組み合わせたようなアメリカ発祥の新しいスポーツ「ピックルボール」が爆発的ブームになっています。
- ✓ 競技人口は1万人超に急増し、女性インフルエンサーの紹介も相まって人気に火がつきました。
- ✓ 都市部を中心にコートが急増しており、仕事帰りの若者を中心に、ストレス解消やフィットネスとして熱狂的に楽しめています。
- ✓ コートの使用料や用具が比較的安価で、初心者でも簡単に楽しめる手軽さが魅力です。
- ✓ スポーツ局もトレーニング種目への組み込みを検討するなど、国を挙げてこの新しいスポーツの発展に注目が集まっています。



・サポート好事例ご紹介

・事例 ~製造委託先開拓支援~

【背景・課題】

- ✓ 国内のホテル・旅館向けにタオルやアメニティを販売しているC社が、既存製造委託先の質の低下や商品ラインナップの拡充のため、新たにベトナム企業との取引を検討していました。
- ✓ 既存の製造委託先は他国であり、カントリーリスクの分散も狙いとしていました。

【対応】

- ✓ ホーチミン事務所で保有するデータから候補先リストを作成し、以下のステップでサポートを実施しました。
 - ① 候補先へ日本からの製造受託に興味があるか確認し、リストを絞り込み。
 - ② C社のベトナム出張へ合わせて、商談を設定するとともに、当日も同行サポート。
 - ③ 商談の進捗に応じて、資金決済方法も含めたアドバイス等のサポートを実施。

【結果】

- ✓ タオル、アメニティそれぞれにて新たな製造委託先との取引開始に至ることができました。
- ✓ 取引開始後も、必要に応じてサポートを適宜実施中です。

長崎県東南アジアビジネスサポートデスク通信

■現地からの最新情報 - 台湾編 -

・現地からの耳よりの情報

【台湾ではペットに関する関心が高まっています！】

- ✓ 台湾では少子化や消費の多様化などを背景にペットを飼う人が増加しています。
- ✓ 2023年の犬猫の飼育頭数は約279万頭となっており、2021年の210万頭から2年間で3割も増加しました。
- ✓ ペット関連市場も着実に成長を続けており、小売売上高はこの10年間で749億円から1,375億円と約1.8倍となりました。
- ✓ 日本同様、台湾でもペットを家族の一員として考える方が多く、ペットの健康や安全性への意識が高まっており、「天然」「オーガニック」といったキーワードの商品が増加しています。例えば、ペット用の遠赤外線治療器等の高額な商品の販売が好調です。
- ✓ 台湾では既に「日本製」が人気ですので、今後はペット用品においてもラインナップ拡充が期待されています。



・サポート好事例ご紹介

・事例① ~ポップアップイベント出店支援~

【背景・課題】

- ✓ アクセサリーブランドを展開する長崎県内企業D社が、台湾での販売を計画されており、まずは自社製品の台湾でのニーズ把握のため、ポップアップイベントへの出店を決定されました。中国語が話せる販売員がいないことから、アクセサリーの販売に適した通訳者の手配等のサポートを必要とされていました。

【対応】

- ① 通訳に必要なスキルや条件などをヒアリングし、事務所で接点がある適切な通訳の手配等を行いました。

【結果】

- ✓ 通訳サポートのもと、台湾にて初めてのポップアップイベントへ出店されました。現地でも当社商品は好評で想定を上回る売上を達成。今後の台湾への本格展開の足がかりとなりました。
- ✓ 台北事務所では、今後も現地バイヤーの紹介等台湾での販路拡大に向けたサポートを継続していきます。